

とよひら・リンク NewsLetter

発行 札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会 「とよひら・リンク」事務局

札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会

ホームページ: <http://www.toyohiralink.jp/>**令和4年度 第2回合同会議を開催しました。**

令和4年7月25日(月) 18:30~20:00 (zoom)

令和4年度、第2回「合同会議」を開催いたしました。行政・医療・介護関係者等、170名が参加されました。Zoomの接続、講演中のミュート等、円滑な運営の協力ありがとうございました。

今年度は「**新型コロナウイルス感染症の振り返りと今後の感染対策・地域連携**」をテーマに取り組みます。札幌市保健所、医療機関、介護施設、在宅事業所等の各機関のこれまでの取り組みを各回で報告をし、今後の感染対策・地域連携について議論を深めていきます。

* 第1回 令和4年5月30日(月)「新型コロナウイルス感染症のこれまでの対応・これからの対策」

* **第2回 令和4年7月25日(月)「新型コロナウイルス感染症に対する意見交換」**

* 第3回 令和4年9月~10月(調整中)「治験について(仮)」

* 第4回 令和5年3月(予定)

冒頭、西岡病院陽性病棟のオンラインで接続し、**オンライン見学会**を行いました。

とても良かった



82.6%

※アンケートコメント(一部)

・ 詰所をレッドゾーンとして感染対策を実施している所を参考にしたいと思いました。

良かった



17.4%

(特別養護老人ホーム看護職員)

- ・ ゴミを各日で別々に保管出来る環境が作られているのが、いいと思った(特別養護老人ホーム介護職員)
- ・ もう少し時間を割いて欲しかった(特別養護老人ホーム介護職員)
- ・ 実際にどうなっているのかが見ることが出来て、参加して良かったと思いました(調剤薬局・薬剤師)
- ・ 解説付きで臨場感あり良かったです(医療機関・事務)
- ・ 普段見れないところが見れてよかった(地域包括支援センター・介護支援専門員)
- ・ 他職種の皆さんの抱えている課題や、その解決策などが共有できた(札幌市消防局・救命救急士)

西岡病院陽性病棟(駐車場内に仮設病棟として建設し、2021年3月より稼働)

<<外観>>



<<居室>>

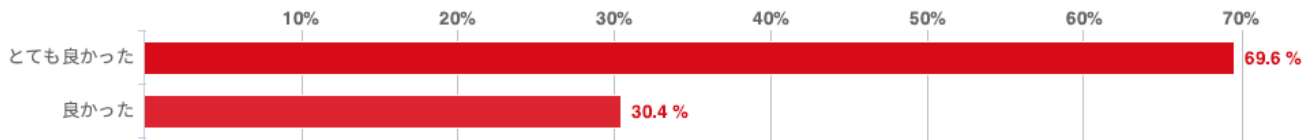


<<ゴミリネン庫>>



●講演・意見交換、新型コロナウイルス感染症について（札幌市豊平区・中西香織保健担当部長）

前回に引き続き、中西保健担当部長にご参加いただき、札幌市の最新の感染状況と出席者からの質疑にお答えいただきました。



- ・ 消防局のお話はなかなか聞けないので貴重なお話が聞けました（調剤薬局・薬剤師）
- ・ 中西先生の説明がわかりやすかったです（調剤薬局・事務）
- ・ 中西先生、消防局の伊藤さんの話が聞いて良かった（地域包括支援センター・介護支援専門員）
- ・ 対策を行いながらの時期が来たら出来ることを考えて行っていく考え方をシフトするきっかけになった（介護老人保健施設・理学療法士）
- ・ 医療現場の第一線で活躍されている医師から直接話を聞くことができ、貴重な時間でした（介護老人保健施設・支援相談員）
- ・ 施設がどのような不安や疑問を抱いているのかを知ることができた（病院・医療ソーシャルワーカー）
- ・ コロナに関する現状の現場での困りごとへの回答が聞いて良かったです（特別養護老人ホーム・施設長）

* 参考情報 *

- 効果的かつ負担の少ない医療現場における感染対策について（厚生労働省令和4年6月20日事務連絡）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000953531.pdf>

- B.1.1.529 系統（オミクロン株）が主流である間の当該株の特徴を踏まえた感染者の発生場所毎の濃厚接触者の特定及び行動制限並びに積極的疫学調査の実施について（厚生労働省令和4年7月22日事務連絡）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000968056.pdf>

【一部抜粋】 特定された濃厚接触者の待機期間は、当該感染者の発症日（当該感染者が無症状（無症状病原体保有者）の場合は検体採取日）又は当該感染者の発症等により住居内で感染対策を講じた日のいずれか遅い方を0日目として、**5日間（6日目解除）**とするが、2日目及び3日目の抗原定性検査キットを用いた検査で陰性を確認した場合は、社会機能維持者であるか否かに関わらず、**3日目から解除を可能**とする。

今後も最新情報を確認しながら、感染対策を進めていきましょう。

公益財団法人 勇美記念財団 2021年度在宅医療助成
地域包括ケアの中で展開する
ACP(Advance care planning)のための
共有意思決定支援(SDM)を学ぶ研修会

当地域では22名の受講者が全過程を無事に終了しました。今後 ACP ファシリテーターとして地域で活動が始まります。

当地域では、研修終了時に地域ACP宣言を発表しました。http://www.toyohiralink.jp/ACP_20220709.html

地域ACP宣言！「心ひらく、とよひらく」

- ・ いつもACP・人生会議を意識して、仕事に励みます
- ・ ACPの文化を築いて行けるように努めます
- ・ 面接技法・対話技術の向上を目指し自己研鑽に努めます
- ・ ACP推進の情報発信を続けます